

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております

2453号

毎週月曜日発行

発行所 **全国町村会** 〒100 0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03 3581 0486 FAX03 3580 5955
発行人 谷合靖夫：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110 8 47697

<http://www.zck.or.jp>



彼岸花と蜻蛉

もくじ

政 策	「世代間ワークシェアリング」を提唱!! 2003年版厚生労働白書〔解説〕…	(2)
政 策	平成15年度女性に対する暴力をなくす運動を実施!! 男女共同参画推進本部…	(5)
フ	子どもの感性を育む、絵本文化の発信基地!! 宮崎県木城町…	(6)
ォ	カプセルNOW&NEW…	(9)
ー	原産地紀州犬とともに…	(10)
ラ	政策リーダー…	(11)
ム	和歌山県美山村長 池本 功…	

閑話休題

ドイツ・ポロランド・オーストリアの、三人の写真家の眼に映った日本の姿が、写真集として出版されている。

『日本に向けられたヨーロッパ人の眼』第五集、EU・ジャパンフェスト日本委員会、二〇〇三年七月。撮影の対象となっているのは山形県と大分県であるが、日本が、外からどのように見えるかを知る上で、大変に興味深い。

彼らの眼は総じて率直・素直であり、何よりもまず日本の美しさに向けられ、私たちの共感を誘う。

意外な真実

静岡文化芸術大学学長・東京大学名誉教授 木村 尚三郎

相撲、我慢に我慢を重ねたあと堪忍袋の緒が切れた形の、第二次世界大戦における日本

タタミの直線美・簡素美とか中山間地域の棚田(千枚田)の美しさ、端正なワラびき・カヤびきの民家、林の中にひっそり佇む野仏などは、世界中の誰が見ても美しい、普遍性のある日本文化である。

しかしその一方で、次のような見方もある。「(日本の庭の)松の木は幹は…奇妙にねじれて、地面に向かって弓形に曲がっています…」

(松の木は普通はほっそりとしてまっすぐですが)日本の庭は、「君

軍の残虐行為も、みな同じである。「宗教が驚くほどどこにでもあり、」建築に対するリベラルで個人的なアプローチ、「広く行き渡った友好的で礼儀正しい雰囲気(マルゲリタ・スピルツァーニ、オーストリア)という日本の印象は、日本人にはこれまた意外ながら、多くの外国人が一樣に抱く真実である。日本各地の対外的なPRの際には、このような外国人の眼を、積極的に活用すべきときであると思う。」

●写真募集●

本誌表紙に掲載の写真を募集しています。四季折々の風物や行事など適当な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付けて下さい)なお、採否は当方に一任願います。送り先:全国町村会・広報部

解 説

2003年版 厚生労働白書

「世代間ワークシェアリング」を提唱 高齢化社会の課題を分析

厚生労働省は、2003年版厚生労働白書をまとめた。「活力ある高齢者像と世代間の新たな関係の構築」をテーマに、少子高齢化社会の課題を分析。高齢者の雇用を進めることで、子育て世代がゆとりを持って働くことができる「世代間ワークシェアリング」の推進を提唱した。

■「第2の現役期」

日本の平均寿命は、世界でも最高水準となった。人口に占める65歳以上の値（高齢化率）が14%を超えると、一般に「高齢社会」と言われるが、2002年10月1日現在、日本の65歳以上の高齢者は2400万人で高齢化率は18・5%に達している。

日本は既に、「高齢社会」の仲間入りをしているわけだが、白書は「わが国の場合、高齢化の進展の早さが特徴的」と指摘する。そして、「諸外国のように徐々に進んだ場合と比べて、人々の意識や社会の仕組みの切り替えが人口構造の変化になかなか追いついていない」面があるとの見方を示した。

平均寿命の伸びとともに、定年退職、子育て終了後の「余生」も長期化している。日本の男女の平均的な生涯を世代別にみても、その変化がよく分かる。

例えば、1924年生まれの場合、末子が結婚して子育てが終わった妻の年齢は平均57歳で、平

均寿命は65歳。これに対し、1947年生まれのいわゆる「団塊の世代」は、末子結婚時の妻の平均年齢は同じく57歳だが、平均寿命は79歳で、「余生」は10年以上長くなっている。

さらに、1971年生まれの「団塊ジュニア」の場合、末子結婚時の妻の平均年齢は59歳で、平均寿命は86歳。子育てを終えた後も、男性で15年以上、女性で20年以上を過ごすことになる。白書は、「これは『余生』と呼ぶにはあまりにも長い期間であると述べ、これらの年月を『第2の現役期』とし、生き生きと過ごせるかは、高齢者になるすべての年齢層にとっても大きな関心事」と強調した。

■「元気な高齢者」の増加

「高齢者」の定義は一般的に、「65歳以上」とされるが、厚生労働省が2000年に実施した「社会保障に関する意識等調査」によると、「何歳からを老後と考えているか」の質問に対し、「65歳以上から」とした回答は31・5%に止まっ

ている。「70歳から」は、ほぼ同数の30・3%。「75歳以上」からが8・5%で、「80歳以上」も5・0%あった。高齢者をめぐる意識の変化の一端だ。

白書はまた、少子高齢化や世帯構造の変化などを背景に、社会の中での高齢者の立場も大きく変わっていると指摘する。

高齢者世帯の状況を見ると、子どもとの同居率はこの20年間ほぼ一貫して低下。2002年には、子どもと同居していない高齢者は1179万人、ひとり暮らしの高齢者は314万人に上った。いずれも、10年前の2倍近くに増加している。子どもとの同居への意識に関する調査では、「同居したい」の回答が1983年は66・3%だったのに対し、2000年は37・9%に低下。高齢者自身の同居志向も低くなっているようだ。

高齢者世帯の所得状況は、現役世代と比較しても格差が改善されているとしている。02年、全世帯の平均は213・5万円に対し、高齢者世帯は195・3万円。全世帯平均の約91%の水準となっている。

高齢者の健康状態について、白書は、「世界でも最高水準にある」ということがいえるであろう」となると述べている。健康で活動的に

政 策

「過すことができる」「健康寿命」は、世界保健機構(WHO)加盟191カ国の中、日本は第1位。2001年の国民生活基礎調査の結果によると、自らの健康について「良い」「まあ良い」と回答しているのは、前期高齢者(65・74歳)で27・2%、後期高齢者(75歳以上)でも20・6%に上る。

高齢者の人間関係に関して、「友人・近所の人・親戚と会ったり出掛けたりする回数」の調査などから、「女性のほうが付き合いが多く活発な常用であり、他方、男性は以前よりも活動が低下している」と傾向が見られる。「近所との付き合いの程度(話をする回数)」の調査から、日本の高齢者は諸外国と比べて、「近所の人と話をしない傾向が大きい」ともしている。

こうした状況の変化を踏まえ、現代の高齢者について、「経済的にはある程度豊かで、おおむね健康であるが、人とのかわりが少ない傾向にある」と分析。一人暮らしの高齢者の生活を支えるサービ

15歳未満の子どもの数はこの20年間に約900万人減少。20年前の3分の1が減った計算になる。

1人の女性が生涯に産む子供の平均数(合計特殊出生率)は2002年、1・32まで低下。このまま少子化傾向が続けば、総人口は06年から減少に転じ、50年には06年より2割以上減少することが見込まれる。

子どもの数の減少の背景として、白書は「若い世代が結婚や出産を先送りするようになったことが大きく影響している」と指摘。労働時間などの側面から、現役世代の現状課題について分析した。

現役世代の現状に関連し、「長時間労働者比率が高い地域の方が出生率が低い」との調査結果が紹介されている。沖縄、山陰、北陸、東北など週60時間以上就業している長時間労働者比率が比較的低いところは、出生率が平均以上となっている。一方、南関東、北海道、近畿(京阪神)など比率の高いところは、合計特殊出生率が1・2・1・3%台と低い状況だ。特に、出生率が最も低い南関東では平均通勤時間も長く、父親の帰宅時間帯が遅くなっている。

また、世帯構成と出生率の関連を調べると、「三世帯同居比率の低い地域ほど出生率も低い」とい

う傾向が見られた。三世帯同居世帯では、祖父母が保育に関わるなど、子育てに協力している度合いが高いことなどが背景にある。

■働き方の見直しを

日本の総労働時間は1980年度後半以降、減少傾向にある。ただ、仕事時間の長さは、年齢層によって違っており、長時間労働の比率の高さが目立つのが30代男性。子育て世代でもある30歳代男性の23・24%が、週60時間以上労働しているというのが現実だ。

しかし、「働く側」の意識は変化している。日本労働研究機構の調査(1998年)によると、「会社のためなら自分の生活を多少とも犠牲にするのは当たり前と思う」と回答した人は、55歳以上の層を除き全年齢で、86年より1割以上低下した。そもそも、共働きが多数派となりつつなる中、「家庭のことはすべて配偶者に任せて仕事に専念する『会社人間』的な働き方は困難になってきている」のだ。

一方、厚労省の「高齢者就業実態調査」によると、全常用労働者に占める65歳以上の割合は92年の2・9%から00年は2・4%に減少。また、就業を希望していた「適当な仕事が見つからなかった」という高齢者の割合も増えて

いる。

子どもを抱える壮年層は仕事に忙殺されている半面で、意欲ある高齢者の雇用機会は不足するなど「世代間の働き方の不均衡」は顕在化。白書は、「高齢層や若年層にも能力の育成・発揮が可能な雇用機会が確保され、その分、壮年層は子育てや家族とのふれあいなどが可能となるようなもう少しゆとりとした働き方」を今後の方向性として示している。そして、これを「世代間ワークシェアリング」と名付けた。

こうした「世代間ワークシェアリング」の実践例として、東京都内の病院の取り組みを挙げている。同病院では、60歳定年後も希望者全員を65歳まで継続雇用する制度を設け、その後、健康であれば年齢に制限なく雇用する制度を確立した。それとともに、同病院の従来の労働時間は「週4時間・4週6休制」だったが、これを「週35時間・完全週休2日制」に変更。高齢者でも無理なく勤めることができるような体制で、従業員全体の労働時間も短縮され、より質の高いサービスの提供が可能になったとしている。

白書は、地域の福祉活動などでも、高齢者の活躍に大きな期待を示している。全国社会福祉協議会

■長時間労働で出生率低下

「元気な高齢者」が増加する一方で、子どもの数の減少は顕著だ。

政 策

が実施した調査(2001年)によると、地域のボランティア活動に参加するのは、高齢者が多く、60代以上が全体の過半数、そのうち3分の1が男性と見られる。介護、子育て、世代間交流など、地域活動への高齢者の参加が活発化している。

活動への参加理由は、高齢者の場合、「社会への恩返し」「生きがい作り」などが多い。こうした高齢者の活力を生かすため、シルバー人材センターや高齢者主体のNPO法人などで、子育て支援や世代間交流に取り組む動きも出ている。

こうした地域活動は、行政を補完し、現役世代が抱える問題の軽減につながる。一方で、会社勤めが長かったため、地域になじみが薄い高齢者らにとっては、活動への参加が、地域に溶け込み生きがいを得るきっかけとなる。高齢者の地域活動には、「2つの果実を同時に実らせる」効果が期待できるといっわけだ。

■「役割」を持ち続ける高齢者に

白書では、就業や社会活動などを通じ、高齢者が「役割」を持ち続けることの重要性を示した。そのため軸となるのが、「働き方

の見直し」であり、「高齢者の地域福祉活動での活躍」でもある。

ただ、こうした「働き方の見直し」も、「企業にとっても利点がないければ広がらない」との厳しい現実認識を示している。また、高齢者の地域福祉活動についても、活動に参加する「きっかけづくり」の必要性を指摘した。地域の社会福祉協議会などによる情報提供や相談活動などの取り組みを拡充し、「機会があればボランティア活動を行いたい」などと考えている人たちに、機会・きっかけを提供することに力を入れることが大切だとしている。

最後に白書は、「『長期にわたる高齢期』が充実したものとなることは今後、高齢者となるすべての世代にとっても大きな関心事」と強調。その上で、「充実のための取り組みが、現役世代の抱える問題の軽減にも役立つように、『世代間の新たな支え合い』の仕組みを社会全体で作っていくことが重要」と結んだ。

(時事通信社 沼野 容子)

次週の「町村週報」は休刊させていただきます。

次号は九月二十九日発行です。

温泉よりもっと「温泉」!

準天然

ト

ロ

ン

温

泉



リラクゼーションを提供する浴場は快適施設の心臓部です

★自慢のふるさとをつくりませんか?! トロン温泉
地域が誇れる自慢の施設に自治体も、住民も満足しています

★“活” トロン温泉で若返るふるさと
高齢化社会の救世主として評価が高まる究極施設です

★トロン温泉がつくる元気な街!
数100の自治体がトロン温泉を設置し、実績を上げています

★“夢舞台” 歓声が聞こえるトロン温泉
老若男女が集う新コミュニティ施設として、自治体の新名所に

◆ランニングコストが天然温泉の1/10で済むトロン温泉は、行財政改革の救世主です。

◆数100の自治体が、天然温泉からトロン温泉に切り替えて成功しています。

企画立案から設計施工、施設運営まで協力します/富士山麓入浴施設の体験入浴セミナー申し込み・資料請求を受け付け中

(株)日本トロン開発協会 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-12 TEL: 03-3221-1601(代) FAX: 03-3221-1361

政 策

平成15年度女性に対する暴力をなくす運動を実施

政府の男女共同参画推進本部は、毎年11月12日から25日（25日は女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」を実施しているが、15年度は次の要綱により本運動を実施することを決定した。

この運動は、地方公共団体、女性団体その他の関係団体との連携、協力のもと、女性に対する暴力の問題に関する取り組みを一層強化するとともに、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを目的とするものである。

男女共同参画推進本部

平成15年度女性に対する暴力をなくす運動実施要綱

1、趣旨

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシユアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題である。

本来、暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の問柄を問わず、決して許されるものではないが、暴力の現状や男女の置かれている我が国の社会構造の実態を直視するとき、特に女性に対する暴力について早急に対応する必要がある。

この運動を一つの機会ととらえ、地方公共団体、女性団体その他の関

係団体との連携、協力の下、社会の意識啓発等、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化することとする。

また、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることとする。

2、期間

平成15年11月12日（水）から11月25日（火）までの2週間
（11月25日は、女性に対する暴力撤廃国際日）

3、主旨

内閣府その他の男女共同参画推進本部構成府省庁

4、協力を依頼する機関・団体
地方公共団体、女性団体その他の関係団体

5、運動の重点

配偶者暴力相談支援センター等の相談窓口の周知徹底に努めるとともに、「女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク」を積極的に活用するなどにより、夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシユアル・ハラスメント、ストーカー行為等は女性に対する暴力であり、決して許されないものであるとの社会認識を更に徹底することに重点を置く。

6、運動の実施事項

- (1)ポスター、リーフレットの作成配布、テレビ、ラジオ等のメディアを利用したキャンペーン等、広報活動を実施する。
- (2)講演会、座談会等を開催するなど、啓発活動を実施する。
- (3)臨時の相談窓口を開設するなど、被害者相談活動の一層の充実を図る。
- (4)女性に対する暴力に係る犯罪行為の未然防止を図るため、女性に対する防犯指導や青少年に対する生活指導、街頭補導等を重点的に実施する。
- (5)女性に対する暴力に係る犯罪行為の取締り及び関係営業に対する行政指導を強化する。

中央三井信託銀行

●遺言・相続 ●不動産 ●ローン ●資産運用の総合コンサルタント

自分の意思どおりに遺産を継承したい。

相続、安心。

遺言書作成のお手伝いから遺言書の保管、遺言の執行まで、ご意思を確実に実行いたします。

中央三井の遺言信託

詳しくは窓口までお問い合わせください。

中央三井信託銀行 営業企画部 財産管理業務センター
TEL.03-5232-3331 〒105-8574 東京都港区芝3丁目33番1号 届出第7号

ひとまず預けて、いつでも納得運用

オールウェイズ
ALWAYS
全額信託(自由型)

- お申込みは100万円以上1円単位。
- お引出しや本商品からの預替えは、1円単位で原則いつでも可能。
- 当社による元本補てん、利益の補足はありません。
- お申込みの際は別途ご用意する商品説明書をご覧ください。

みずほ信託銀行 **0120-081506**

受付時間/午前9時～午後5時 土・日・祝日・銀行休業日を除きます。

現地レポート

平成14年度地域づくり総務大臣表彰「活力のあるまちづくり部門」受賞

子供の感性を育む 絵本文化の発信基地



宮崎県

き じょう ちょう

木城町

はじめに

木城町は、宮崎県のほぼ中央に位置し、東西24km、南北わずか6km、面積146・02km²という帯状の地形をなしています。

面積の84%を山林原野が占め、町の中央部には小丸川(全長80km)が流れ、これに沿って一部耕地が開けています。

人口は、昭和24年の9872人をピークに減少を続け、現在は5705人となっています。主な産業は農業で水稻をベースに畜産、野菜、果樹等の複合経営がなされています。

昭和48年4月に町制を施行、平成15年4月には町制施行30周年を機に、「水と緑 心豊かな住みよい町」をキャッチフレーズに、誰もが住みたくなるような魅力ある町づくりを進めています。

山村と都市の交流

宮崎県と本町に隣接する7つの市町村により、個性的で魅力的なふるさとづくりと、地域の活性化を目的に、「歴史と未来の出会いふるさとづくり構想」が策定されました。

木城町では、大正時代に文豪「武者小路実篤」が開村した、お互いに



フォーラム

仲良く個性を尊重し、文化活動を築き、理想郷「日向新しき村」が現在も営々と引き継がれており、「平成の新しい村づくりプロジェクト」に着手し、国土庁の山村都市交流環境総合整備モデル事業を導入しました。

平成の新しい村づくり事業推進の過程においては、幾多の紆余曲折がありました。幾多の紆余曲折が、住民や町内在住の版画家を中心に構想を練り、対話を重ね、試みとして地区の小学校講堂を会場に「プラティスラヴァ世界絵本原画展」が企画実施されました。

5月のゴールデンウィークの10日間、住民参加による事前準備や会場案内、絵本の読み聞かせや昔話等に町内外から延べ300人以上のボランティアスタッフがの参加と支援協力があり、開催期間中には、県外客を含め1万人を超える来場者からの反



木城えほんの郷「森のえほん館」

響を得ました。

このことによって、絵本文化を中心に「子どもの感性を育むえほんの郷」の方向性が決定的となりました。

小さな村からの文化発信

小さな山奥の町で、何故「絵本文化」を発信するのか。今の子どもたちにはイメージを膨らませるために必要な自然との触れ合いが少なく、自然の神秘・美しさ・怖さ・闇の暗さなどを実感する体験が乏しい現状です。また、都会で開催される展覧会と違って、自然を

五感で感じながら原画展を鑑賞できる豊かな自然空間があります。

また、全国的に絵本文化による地域づくりや町づくりをめざす市町村が少なくないということもあり、独自の事業展開により「木城」という町をアピールできたという思いを具現化しました。

このようなかで、平成8年にオープンした「木城えほんの郷」は、豊かな自然を生かした絵本原画展やコンサート、海外の劇団公演、絵本大学や昔話大学等により、山村と都市の交流を深めながら、絵本文化の発信を続けています。



森のえほん館内部

自然の中でのイメージやファンタジーの世界

周囲を山々に囲まれ、静かな時の流れる地で、イメージやファンタジーの世界に遊び、原初的な自然のふれあいの中で、絵本文化を中心に演劇や音楽を楽しみ、子どもたちの感性を育む文化を根付かせ、世界に発信し続けようと努力しています。

森のえほん館

えほんの郷の中核施設で、13,000冊の絵本が揃ってあります。1997年度のマーク・シーモント、ニタ・ローベルの

作品をはじめ、木城えほんの郷の理念にふさわしい、自然への深い愛を語り、自然の中で生きる喜び、アジアの絵本原画を中心に蒐集活動をすすめています。

また、森のステージは、自然との共演(かぜのささやき・水の音・虫の音・鳥の声)をテーマに、木陰のベンチで絵本を見たり、絵本の読み聞かせやお話会、音楽や演劇を体験する場となります。

森のきこり館

絵本文化を日常の暮らしにより深く根付かせるために、森の本屋さんやえほんの郷号の活動と連動する

ブックアドバイザーの講座やえほんの読み聞かせ・えほん教室・おはなし会などのワークショップ、絵本大学、昔話大学などの活動を行っています。

時に応じて、喫茶室 ミニコンサートなど変幻自在なライブ空間としても展開しています。

森の芝居小屋

自然の楽器や音の道しるべなどのサウンドスケープづくりを中心に、竹・木・植物などを生かした手づくり遊びやワークショップ、人形劇や一人芝居、コンサートなどライブ感あふれる自在な空間を展開しています。

時に応じて、手づくり教室や喫茶室にもなります。

森のコテージ

宿泊棟。ランドスケープ、サウンドスケープデザインを考えた植栽を充実しながら、訪れてくる人がゆったりと泊まれるような宿泊施設です。



自然の中でえほんに見入る子供たち

フォーラム

♣水のステージ♣

共生をテーマにした現代の「天の川コンサート」を開催しています。

♣遊歩道・野鳥の森♣

四季の移り変わりや一日の時間の流れを感じられる「自然のとき」と人間より弱い、小さな命に味方する「蝶道や小鳥の道づくり」を進めています。

事業を支える人づくりと活動

「木城えほんの郷」の経営は、民間の持つ優れた絵本の専門知識や経営能力を積極的に活用し、公共と民間の役割を明確にした、公設民営の管理委託方式により、独自の企画運営を行っています。



MTB 4時間耐久レース

この山村都市交流事業を契機に、町民の意識がわずかな変化が生まれつつあります。町内の青年グループが相集い、行政に頼らない自主運営組織の「若者会」が結成されています。冬の風物詩となった「電飾イルミネーション」の設置や町立自然公園を利用した「マウンテンバイク4時間耐久レース」を開催しています。この耐久レース大会は、8回を

数え、選手と応援参加者が千人を超える西日本最大のビッグイベントに成長しています。

また、生涯学習の一環として、埋もれた人材を発掘登用し、町民の誰もが指導者になれる、「かがやき人」の登録制度が発足されています。100名を超える各分野の「かがやき人」が登録されており、多様な学習ニーズに対応するため、いろいろな学習分野や講座・教室等に指導者を派遣することで、町民の関心と意欲を高め、効果的で充実した生涯学習の推進が図られています。

今後の方向性

絵本文化を発信しながら、山村と都市との交流人口の拡大はもちろんのこと、「木城えほんの郷」を中心に、将来の郷土や日本を背負う感性豊かな子どもたちを育てていくため、「自然とのふれあいと絵本文化の体験を通して、人間の豊かな感性を育むことのできる観光」を基本理念とし、「ついでに来た」のではなく「わざわざ来た」というような施設づくりに努力し、「住んでみたい、住んでよかった」といえるような町づくりの最善の努力を傾けていきたいと思っています。

魅力ある町づくりや人づくりに終着駅はありません。今後も、町民の皆様とともに英知を結集して、昨日より今日、今日よりも明日をめざし、一歩一歩確実な足取りを残していきたいと思えます。

(木城町役場 企画課長 半渡英俊)

Archive 復元

合併前に町村の貴重な画像を整理してデジタル保存しませんか

Beautiful 美しく

Clear 鮮明に

Digital デジタルで

G-das

GからAへの回帰
デジタル技術による
画像修復保存システム

Film 劣化した画像を

写真・絵画・古文書・建築図面・文化財

Eternal 永久に

こちらの自治体向け商品もよろしく!!
ひとりひとりの健康を大切に!

健康管理システムパッケージ
導入実績
官公庁・自治体・銀行・ほか多数...

詳しくは<http://www.system-think.co.jp>



お問い合わせはこちらまで
株式会社システムシンク
企画営業グループ G-das/健康管理担当まで
TEL:03-5434-7484 FAX:03-5434-0421



情報

カプセル Now & New

ラトビアの音楽等を
収めたCD作成 北海道
東川町

町は、町民に癒しの音楽を聴
きながら健康を維持してもらお
うと、ラトビア人の歌手とコー
ラスが同国の民謡などを歌った
曲と同国のバイオリンソナタな
どを収めたCDを作成した。健
康保持による医療費節減の啓発
をねらいに、健康保険証更新等
に伴い町民に配布していく。

福祉行政先進都市と 宮城県
国際友好都市協定 涌谷町

平成九年に福祉行政の先進国
デンマークのソローイ市に視察
団を派遣して以来、同市と交流
を続けている町は、特別養護老
人ホーム落成式にソローイ市長
などを招待したことを機に同市
と国際友好都市協定を締結。福
祉行政以外にも交流を深める事
業などに取り組んでいく。

住宅用太陽光発電システム福島県
大熊町

これまで公共施設などで自然
エネルギーを積極的に利用して
きた町は、自宅に住宅用太陽光
発電システムを設置する町民
に、設置費の一部を補助する制
度を実施している。財団法人新
エネルギー財団の規定に適合す
る発電設備が対象で、三十二万
円を限度に補助している。

出前講座まなびの宅配 栃木県
「便」を実施 二宮町

「いちたす」にのみや みん
なで「さんか」をキャッチフ

レースに生涯学習支援を行って
いる町は、さらに多くの町民に
生涯学習に参加してもらうた
め、出前講座「まなびの宅配便」
を実施していく。十人以上のグ
ループを対象に約二時間の講義
を行い、受講料は無料。

九部署の証明書類発行 群馬県
事務を延長 大泉町

町は、町民からの要望を受け
毎週水曜日、住民課、税務課な
ど九部署において、証明書類の
発行に限定して二時間の窓口業
務の延長を試行実施している。
利用状況をみてさらに効果的な
方法を検討していく。実施に当
たっては、各部署で出勤時間の
ローテーション化を図った。

行政評価システム導入に 神奈川県
向け検討委員会設置へ 二宮町

町は、行政評価システムの導
入を目指して検討委員会の設立
準備を進めている。設立する検
討委員会には、一般公募した町
民や学識経験者などを加え、先
行事例などを参考にしながら第
三者の立場から調査・検討を進
めてもらい、システム案をまと
めていく予定。

職員の対応を町民が評価 富山県
小杉町

町は、職員の町民への窓口や
電話での対応向上に向け、職員
の対応を町民に評価してもらう
アンケートを実施した。説明は
分かりやすく丁寧だったか、身
だしなみなどについて、「大変不
満」から「大変満足」までの五
段階で評価してもらい、問題点

を明確化し改善を図っていく。

低学年学校生活支援 静岡県
事業を推進 長泉町

町は、町独自に生活支援補助
員を臨時職員として採用し、小
学校二年生までの全学年に担任
教師を補佐する学校支援補助員
を一人ずつ配置する低学年学校
生活支援事業に取り組んでい
る。学習意欲向上や授業態度な
どの規範意識向上が目的で、県
内自治体では初めての試み。

CATV活用の情報 愛知県
サービスを検討 豊山町

町は、町のケーブルテレビ網
を利用した情報サービスについ
て、地域住民の意見を反映して
いくため、検討委員会のメン
バーを募集し、検討を進めてい
る。ケーブルテレビは全世帯の
九割の約五千世帯が加入してお
り、町のチャンネルでは町政に
関する文字情報を流している。

小規模公園も網羅した 兵庫県
遊び場マップを作成 稲美町

町は、「近所で安心して遊べ
る場所を知りたい」という町民
の声に応え、自治会に管理を委
託している小規模な公園も網羅
したいなみっこ遊び場マップ」
を作成し、町内全世帯に配布し
た。トイレや駐車場、遊具など
を記したほか、大規模な公園は
写真で紹介した。

「介護福祉年金」を支給 岡山県
加茂町

町は、介護保険料の見直しに
伴い、介護保険料の基準額が
アップしたことから、月額千円

の「介護福祉年金」を支給する。
対象者は六十五歳以上七十九歳
以下の介護保険料完納者で、次
回見直しの平成十七年までの時
限措置として実施していく。

マリノボランティアに 愛媛県
よる講習会実施 西海町

町は、今夏、「マリノボラン
ティア」による素潜りの講習会
を開き、観光客に海的美しさを
味わってもらった。一般公募で
名乗りを上げた約二十人がボラ
ンティアで講師を務め、シユ
ノーケルを使った素潜りのほ
か、海の生物や救命救急法、自
然保護などを学んでもらった。

障害者等のテレワーク 熊本県
支援事業を推進 阿蘇町

「チャレンジド・テレワーク支
援事業」に取り組んでいる町は、
テレワーカーのネットワーク組
織「阿蘇総合ヒレツジ」を設立
し、障害者や高齢者の就労機会
確保に取り組んでいる。ホーム
ページの作成や会議録の入力業
務など、ネットワーク組織を通
じて受注拡大を図る。

ICカード職員証で 沖縄県
セキュリティを確保 東風原町

町は、ICチップが埋め込ま
れた職員証を作成し、出勤時
のタイムカードとして利用して
いる。勤務時間外は入室読み取
り機に職員証をかざさないと出
入口の電子ロックが解除されな
いシステムを導入し、セキュリ
ティの向上を図った。

カプセル Now & New

随 想

原産地紀州犬とともに



和歌山県 山 村 功
歌 山 本
和 池
み 美

和歌山県の中央部に位置する山村美山村。今年も各地から梅雨前線豪雨の災害が報じられている。

半世紀前、昭和二十八年七月十八日の紀州大水害の悲惨な光景が目に浮かぶ。村内で百六十四名と県下最大の死者・行方不明者を出した被災地美山村である。

いずれの災害も背後からの土石流による災害が主であり、山村、山に囲まれている村の悲劇であった。また、林業の不振はとどまるどころを知らず、厳しい山村の状態は山村行政の悩みである。

ところで、視点を変え公務を離れて、紀伊山地が原産の紀州犬についてご紹介してみたい。

紀州犬は、文部省から天然記念物として指定を受けている。その特色は沈着伶俐。普段は非常におとなしいが、猪猟につれていくと

勇猛果敢、絶対に後ろに引かない
烈しい性質を持っている。

三十数年前、私は隣村中津村の井原由蔵さんから一頭の雌犬を託された。「これは血統の良い犬だ。この犬を基礎として、紀州犬の原産地として血統を守ってくれ」と依頼された。

井原さんは日本犬保存会審査員、紀州犬保存会の審査部長として活躍され、また紀州犬の作出においても全国的に名を知られた方である。私はこの言葉を大事に受けとめ、より良い紀州犬を育てようと決心した。

私はそれまで鉄砲を持ったこともなかったが、姿芸両全の紀州犬を育てるために狩猟を行うようになった。毎年狩猟に行くのも犬を鍛錬するためである。井原さんから託された犬は雪姫号と言い、紀

伊号と交配を行い誕生したのが寒の一つ子大力号である。

大力号は生まれて八ヶ月のとき、運動中に私のとめるのも振り切り山中にかけ入り、猪の牙に逆にやられた。腹を割かれているのを見て、早く自宅に連れて帰り傷の治療をしようと考えたが、猪を追ってなかなか帰らずあきらめた。その後、床下に潜り込んで出てこない。そのまま一週間ほどじつと体力の消耗を防ぎながら、自力で傷を治してしまった。原始の犬と言われる紀州犬のたくましさにも驚いたのであった。

大力号はその後、(社)日本犬保存会の本部展覧会において、最高の内閣総理大臣賞を受賞。久々に原産地和歌山に最高賞をもちらした。審査評として、「渋味のある顔貌であか抜けのした構成は抜群の素質を十分表現している」という評価を受けた。

手前味噌になるが、大力号の血統を引く紀州犬で数多くの犬が、その後各地の展覧会で内閣総理大臣賞、文部大臣賞などに入賞し、私の犬舎号、紀州美山荘も優良犬を作出した功勞により、日本犬保存会ならびに紀州犬保存会よりそれぞれ優良犬作出奨励賞を受賞している。

これらの犬は、白毛の紀州犬で

あった。現在、全国各地で飼われている紀州犬は、一部猟師に使用されている有色紀州犬以外は白毛の展覧会オンリーの風潮に影響されて、白一辺倒になっている。さらに、喧騒な点も気にかかる。昔は有色の紀州犬がたくさんいた。むしろ、有色紀州犬に優秀な犬が多かったと聞くところである。

私は十数年前に、昔のような獣猟にも展覧会にもいく紀州犬の復活をさせたいと思い、取り組むこととした。

先祖に有色の血を引く我が家の白色紀州犬の雌犬から繁殖を始めた。白色、有色、斑の子犬が生まれたが、何代かの交配を重ねるうちに現在はほとんど有色犬ばかりの出生となっている。赤、赤胡麻、黒胡麻、めた毛等、それなりに昔の毛色の評価も受ける犬もできてきた。

今後、私だけでなく、紀州犬愛好家の方々に有色の血統と毛並みを守り、今少し有色紀州犬を見直していただきたいと願うところである。

白色、有色を問わず、生きた文化遺産の天然記念物紀州犬の正しい血統の保存に向けて、なお一層の心配りを念じながら、山村生活に生きがいを求めている昨今である。

情 報

政策リーダー

政策リーダー

保育所待機児童が増加

厚生労働省

厚生労働省は八月十九日、平成十五年四月一日の保育所の状況について調査した。

調査によると、保育所数は二万二、三五五カ所(前年比八三カ所〇・四%増)、うち、公営一万二、五五カ所、民営一万一〇〇カ所、定員は一九九万二九五人同三万二、六六九人、一・六%増)、うち、公営一〇七万五、四〇四人、民営九一万四、八九一人、利用児童数は一九二万五九一人(同四万一、二四二人、二・二%増)うち、公営九七万一、二一六人、民営九四万九、三七五人となっており、定員充足率は九六・五%(同〇・五%増)に達している。

年齢区分別利用状況では、〇歳児の六・四%、一〜二歳児の二二・二%、三歳以上児の三七・〇%が利用しており、全年齢児の二七・二%に達している。

待機児童は前年よりも九三六人増加の二万六、三八三人となっており、その背景として、都市部を中心に保育所利用児童数が五万五千人増加したが、社会経済情勢の動向による女性労働力人口の増加、都市部の再開発に伴う住宅建設等により保育需要が急増したと分析している。

また、待機児童を年齢区分別で見ると、〇歳児は二、九三二人、一〜二歳児は一万四、九六一人、三歳以上児は八、四九〇人となっている。

平成十四年度版「過疎対策の現況」まとまる

総務省は、この度、平成十四年度版「過疎対策の現況」について公表した。

これによると、過疎地域が全国に占める割合は、過疎指定市町村が一、二〇三市町村と全体の四〇%弱。面積では国土の約半分。人口では全国の約六%を占めるに過ぎない。人口の動向としては、自然減が社会減と同水準となっている。しかしながら、高齢者比率は二九・二%と全国と比べ高くなっている。

また、財政状況については、一市町村当たりの決算額が歳入、歳出とも全国平均の三割程度、財政力指数は全国平均が〇・四〇であるのに対し〇・一九と極めて脆弱なものとなっている。

生活環境の整備及び交通アクセスの状況については、全国との格差は徐々に改善してきているものの依然として格差が残っているとされている。また、定住、交流の促進策として、集落移転、再編やUJエターンへの取り組みを積極的に取り組んでいることも報告している。

なお、過疎対策事業の実績については、現行の自立促進法に基づく前期自立促進計画(平成十二年度〜十六年度)における過疎対策事業の計画額は約一七兆円であり、分野別にみると、「生活環境の整備」や「高齢者の保健・福祉」等のシェアが年々増加しており、時代のニーズに応じて的確に変化しているとされている。

水稻の作柄概況を発表

農林水産省

農水省は、この程八月十五日現在の今年産水稻の作柄概況を発表した。六月中・下旬以降の長雨や日照不足など天候不良が大きく影響し、全体としては、九三年以来の不作となる可能性が濃厚となった。

東日本を中心とした早場地帯一九道府県の作柄は、北海道及び青森、岩手、宮城の三県では、七月中・下旬の著しい低温の影響による不稔もみの発生が見込まれること等から、「著しい不良」(作況指数九〇以下)ないし「不良」(同九一〜九四)。他の県も秋田県を除いて「やや不良」(同九五〜九八)か「不良」となっている。

また、関東以西の遅場地帯二七都府県の生育状況も、六月中旬以降の日照不足等の影響により総じて茎数が平年並み(同九九〜一〇一)、ないし「やや不良」の状態が続いている。

八月中に刈り取りがほぼ終わる早期栽培(超早場米)の作柄は、宮崎、鹿児島が「不良」、高知、徳島が「やや不良」、沖縄が「平年並み」となっている。

このように〇三年産米の生産量は、平年を大きく下回る見通しであるが、農水省は一五〇万ト程度の政府備蓄米等があることから、供給に不安はないとしている。

大きな秋、
当たりの調べ。



2003年 新市町村振興宝くじ

オータムジャンボ^{宝くじ}

1等・前後賞合わせて

2億円

●1等:1億5,000万円/前後賞各2,500万円 ●2等:1,000万円 ●3等:100万円
 1枚300円! 売り切れしだい発売終了!
 ●発売期間 平成15年9月25日(木)~10月10日(金) ●抽せん日 平成15年10月15日(水)
 ●当せん金支払い開始日 平成15年10月20日(月)

この宝くじの収益金は
 市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など
 地域住民の福祉向上のために使われます。

9/25
 (木)
 発売!!